

建築物の環境配慮制度マニュアル（別冊）

# 大阪府の重点評価

（新築・増築等CASBEE総合評価実施建築物用）

平成29年3月改訂

大阪府



# 目 次

大阪府の重点評価.....	1
第1章 「大阪府の重点評価」とは.....	1
1.大阪府の重点評価の概要.....	1
2.入力方法.....	2
第2章 「大阪府の重点評価」の評価と解説.....	4
1.省エネルギー対策(CO2削減・省エネルギー対策).....	4
2.みどり・ヒートアイランド対策.....	5
3.参考項目.....	6
4.参考資料(CASBEE－建築(新築)より大阪府重点評価への入力項目).....	6
第3章 エネルギー消費量の報告.....	8
1. 報告の手続き.....	8
2. 入力方法.....	14

# 第1章 「大阪府の重点評価」とは

## 1. 大阪府の重点評価の概要

(1) 地球温暖化・ヒートアイランド対策として、省エネルギー対策・緑化・建築物表面及び敷地の高温化抑制について評価します。

■評価項目は、非住宅及び集合住宅により分類されます。

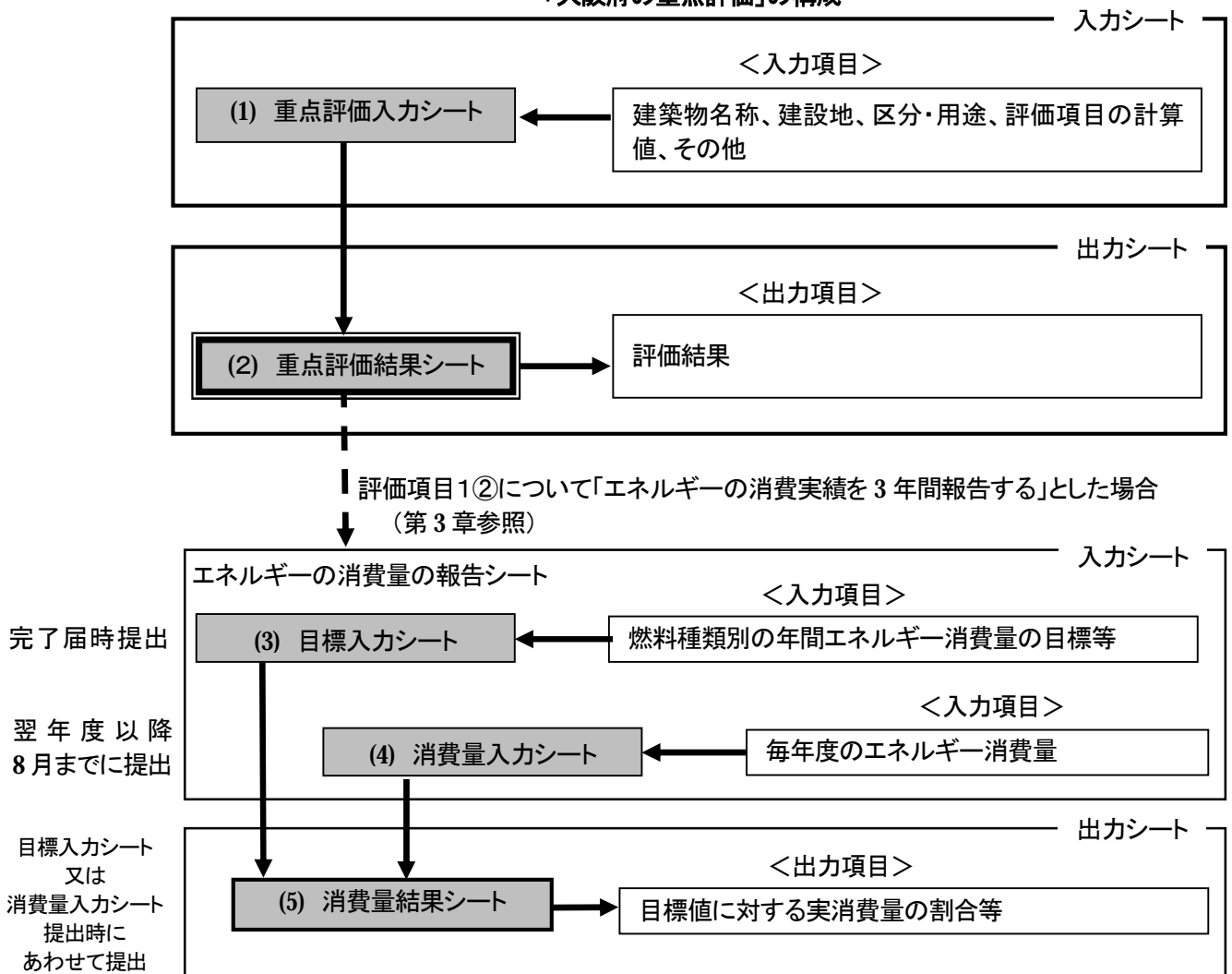
■評価項目が「評価項目の解説」に示す一定の基準を満足した場合に、優良な取組みとして5段階で評価します。(詳細は、第2章を参照)

(2) 「参考項目」として、先進的な技術の導入などの記述項目を設け、顕彰の際や他の建築物への参考資料などとして活用します。

(3) 「大阪府の重点評価」は、「CASBEE-建築(新築)」の結果とともに公表します。

**注意)大阪府の重点評価を行う前に、あらかじめCASBEEによる評価を完了させておく必要があります。**

### 「大阪府の重点評価」の構成



※二重枠の評価結果シートは公表されます。

「大阪府の重点評価」の評価ソフト及び本マニュアルは、大阪府のホームページからダウンロードできます。

# 建築物の環境配慮制度マニュアル

大阪府の重点評価

第1章 「大阪府の重点評価」とは

## 2. 入力方法

### (1) 重点評価入力シートへの評価入力

- このシートに入力すると自動的に「評価結果表示シート」に評価結果が表示されます。
- 「評価結果表示シート」が公表されるので、入力内容に相違がないか、「評価結果表示シート」を確認してください。

・建物名称、建設地を記入してください。

※建築物環境計画書の名称と整合させてください。(CASBEE入力も同様)

・建築物における用途ごとの延べ面積を入力してください。

・CASBEE 評価結果シート 2-4 中項目の評価における建物の熱負荷・自然エネルギー・設備システム効率化・効率的運用・水資源保護の評価結果を入力してください。

・CASBEE スコアシート Q3-1 生物環境の保全と創出  
Q3-3.2 敷地内温熱環境の向上  
LR3-2.2 温熱環境悪化の改善による評価結果を入力してください。

① 先進的な技術の導入  
「建築物の環境配慮技術手引き」に掲載されている技術などの先進的な取り組みについて、なぜそれが採り入れられたのか、どのような工夫がされているのかなどを記述します。

(例) ・太陽光発電による自然エネルギー利用を行っている。

・電気自動車・プラグインハイブリッド自動車の充電設備が設置されている。

・受付番号は、届出時までは空欄としてください。

・CASBEE 評価結果シート 2-1 建築物の環境効率 (BEE 値) を記入してください。

・CASBEE の LR3-1 地球温暖化への配慮による評価結果を記入してください。CASBEE 評価結果シート 2-4 中項目の評価 LR3 敷地外環境 地球温暖化への配慮の評価値を入力

・CASBEE スコアシート Q1-2.1.2 外皮性能における建物全体及び住居・宿泊部分のスコア及び重み係数入力  
※下記スコアシート参照

・CASBEE メインシート住居宿泊部分の比率入力

・エネルギー消費量の報告を行う場合は、「報告する」。行わない場合は、「報告しない」を選択してください。ただし、集合住宅については、評価対象外です。※エネルギー消費量の報告については、「第3章 エネルギー消費量の報告」を参照のこと

② 特に配慮した事項  
上記以外で、地球温暖化・ヒートアイランド対策として特に配慮した事項を記述します。  
(例) ・大規模な自然エネルギー施設を導入する。(施設の規模)  
・地域冷暖房を導入する。

・再生可能エネルギー利用設備の導入状況  
該当する再生可能エネルギー利用設備の種類に「○」を入力してください。  
※条例により検討対象とした太陽光発電設備など6種類以外の設備を導入する場合は、設備名の称を直接記入の上、「○」を入力してください。

### ■省エネ対策の入力方法 スコアシート

項目	共用スコア	重み1	重み2	専用スコア	重み1	重み2
1.3 吸音	3.0	-	3.0	-	-	-
2 温熱環境	3.0	0.35	3.0	1.00	3.0	-
2.1 室温制御	3.0	0.50	3.0	0.50	-	-
1 室温	3.0	0.63	3.0	0.63	-	-
2 外皮性能	3.0	0.38	3.0	0.38	-	-
3 ゾーン別制御性	3.0	-	3.0	-	-	-
2.2 湿度制御	3.0	0.20	3.0	0.20	-	-
2.3 空調方式	3.0	0.30	3.0	0.30	-	-
3 光・視環境	3.6	0.25	3.0	1.00	3.1	-

\* このシートは、公表されません。

専用スコア 重み1 重み2

(2) 評価結果表示シート

このシートが公表されます。

大阪府建築物環境配慮評価  
システムのバージョンを表示

届出書の受付番号  
を表示

【表示内容】

- (1) 建築物名称等
- (2) 建設地
- (3) 建築物用途
- (4) CASBEE総合評価結果
- (5) CO2削減
- (6) 省エネ対策
- (7) みどり・ヒートアイランド  
対策
- (8) 再生可能エネルギー利用  
設備の導入状況

大阪府建築物環境配慮評価システム <b>2017年版</b>		受付番号 <b>H29-0000</b>	
大阪府の重点評価(結果)		Osakafu-新築・既存 2017V1.0	
<b>【建物概要】</b>	建物名称	(仮称)〇〇マンション	
	建設地	〇〇市〇〇町〇〇1-1-1	
	用途/区分	集合住宅	
<b>【評価結果】</b>	CASBEE 総合評価	★★★★☆ <b>A</b>	
	CO2削減	★★★★☆ <b>4</b>	
	省エネ対策	★★★★☆ <b>4</b>	
	みどり・ヒート アイランド対策	★★★★☆ <b>4</b>	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電 ○	風力 — 地熱 —
		太陽熱利用 —	水力 — バイオマス —
<b>エネルギー消費量の報告</b>		<b>対象外</b>	
<b>【評価項目】</b>			
省エネルギー対策		① CO2削減	
		② 省エネ対策	
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	<b>4.0</b>	<b>4</b>
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2.1.2」 のスコアによる評価	建物全体 <b>4.0</b> 住戸・宿泊 <b>4.0</b>
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	<b>4.0</b>
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	<b>4.0</b>
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	<b>4.0</b>
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価	<b>4.0</b>
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価	<b>4.0</b>
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策	
項目	評価内容	スコア	評価
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	<b>4.0</b>	<b>4</b>
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価	<b>4.0</b>	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価	<b>4.0</b>	
<b>その他</b>			
(11) その他	技術の名称	考慮事項	
	先進的技術の導入		
	特に配慮した事項		

- (9) 省エネルギー対策の  
評価項目

- (10) みどり・ヒートアイランド  
対策の評価項目

※大阪府建築物環境配慮評価システムのバージョンは、使用するCASBEE評価ソフトのバージョンにより異なります。

CASBEE-建築(新築)2014年版⇒2015年版、CASBEE-建築(新築)2016年版⇒2017年版

## 第2章 「大阪府の重点評価」の評価と解説

大阪府の重点評価については、「CASBEE-建築(新築)」により評価を行っていただきました評価結果に基づき、大阪府において重点的に評価する取り組みについて再評価を行っていただきます。

評価方法は、各取り組みのCASBEE評価点を重点評価シートに入力していただき評価することになります。

### 1. 省エネルギー対策

大阪府域の二酸化炭素の排出量は、温室効果ガスの大半を占めており、そのほとんどが石油、天然ガス、電力等のエネルギー消費により発生しています。また、エネルギー消費により発生する排熱がヒートアイランド現象を引き起こす要因にもなっているため、建築物の省エネルギー対策について評価します。

さらに、省エネルギー対策は、建築物のエネルギーコストを低減させて経費削減に寄与するとともに、エネルギー経費比率の小さい建築物としてイメージの向上にもつながるなど、建築主等の直接的なメリットとなります。

ここでは、地球温暖化対策への取り組み度合いをライフサイクルCO<sub>2</sub>(CASBEE-建築(新築)マニュアル参照)という指標を用い同用途の基準建物と対象建物との比較を行いCO<sub>2</sub>削減の評価を行うとともに、建築物の運用開始後におけるエネルギーの効率的な管理を進める観点から、設備機器の総合的な省エネルギー化について評価を行います。

#### ①CO<sub>2</sub>削減

- 地球温暖化対策への取り組み度合いをライフサイクルCO<sub>2</sub>という指標を用いて評価します。
- 算定方法は、「CASBEE-建築(新築)」の「LR3 敷地外環境、1地球温暖化への配慮」による評価に従ってください。
- 「CASBEE-建築(新築)」のスコアシート評価項目「LR3 敷地外環境、1地球温暖化への配慮」における評価点を「大阪府の重点評価」の入力シート評価項目「1.省エネルギー対策①CO<sub>2</sub>削減」に入力してください。

評価基準			
評価項目	評価値	評価	評価結果
CO <sub>2</sub> 削減	4.5以上	評価5	★★★★★
	3.5以上4.5未満	評価4	★★★★☆
	2.5以上3.5未満	評価3	★★★☆☆
	1.5以上2.5未満	評価2	★★☆☆☆
	1.5未満	評価1	★☆☆☆☆

#### ②省エネルギー対策

- 建物の外皮性能、熱負荷抑制、自然エネルギー利用、設備システムの高効率化、エネルギーの効率的運用、水資源保護について評価を行います。
- 算定方法は、「CASBEE-建築(新築)」の「Q1-2.1.2 外皮性能」「LR1 エネルギー」「LR2 水資源保護」による評価に従ってください。
- 「CASBEE-建築(新築)」のスコアシート評価項目「Q1-2.1.2 外皮性能」における評価点及び重み係数(入力項目箇所は4. 参考資料参照)、「LR1 エネルギー」「LR2 水資源保護」における評価点を「大阪府の重点評価」の入力シート評価項目「1.省エネルギー対策②省エネルギー対策」に入力してください。

評価基準			
評価項目	評価値	評価	評価結果
省エネ対策	4. 5以上	評価5	★★★★★
	3. 5以上4. 5未満	評価4	★★★★☆
	2. 5以上3. 5未満	評価3	★★★☆☆
	1. 5以上2. 5未満	評価2	★★★☆☆
	1. 5未満	評価1	★★★☆☆

○エネルギー消費の実態把握に努める

- ・エネルギー消費量の目標の設定及び3年間の実績の報告について評価します。  
(報告の方法等については、「第3章 エネルギー消費量の報告」参照)

評価基準
報告する

2. みどり・ヒートアイランド対策（緑化及び建築物表面、敷地の高温化抑制）

大阪府下の緑量を確保する観点から、敷地の緑化に関する取組みを評価します。  
また、建築物やその敷地は、太陽熱の蓄積による高温化がヒートアイランド現象の主要な原因となっていることから、太陽熱の蓄積防止対策について評価します。

- ・建物における緑の量及び質等に基づき評価を行います。また、温熱環境悪化の改善としてヒートアイランド化の抑制対策など、敷地外の熱負荷の低減に資する取組みについて評価を行います。
- ・算定方法は、「CASBEE-建築(新築)」の「Q3-1 生物環境の保全と創出」「Q3-3.2 敷地内温熱環境の向上」「LR3-2.2 温熱環境悪化の改善」による評価に従ってください。
- ・「CASBEE-建築(新築)」のスコアシート評価項目「Q3-1 生物環境の保全と創出」「Q3-3.2 敷地内温熱環境の向上」「LR3-2.2 温熱環境悪化の改善」における評価点を「大阪府の重点評価」の入力シート評価項目「2.みどり・ヒートアイランド対策」に入力してください。

評価基準			
評価項目	評価値	評価	評価結果
みどり・ヒートアイランド対策	4. 5以上	評価5	★★★★★
	3. 5以上4. 5未満	評価4	★★★★☆
	2. 5以上3. 5未満	評価3	★★★☆☆
	1. 5以上2. 5未満	評価2	★★★☆☆
	1. 5未満	評価1	★★★☆☆

# 建築物の環境配慮制度マニュアル

大阪府の重点評価

第2章 「大阪府の重点評価」の評価と解説

## 3. 参考項目

記述内容については、個別の評価は実施しませんが、「おおさか環境にやさしい建築賞」(に定める顕彰、特に環境配慮の取り組み等の優れた建築物を表彰)の実施に際して、参考とします。

### ① 先進的な技術の導入

「建築物の環境配慮技術手引き」に掲載されている技術などの先進的な取り組みについて、なぜそれが採り入れられたのか、どのような工夫がされているのかなどを記述します。

(例) ・太陽光発電による自然エネルギー利用を行っている。

・電気自動車・プラグインハイブリッド自動車の充電設備が設置されている。

### ② 特に配慮した事項

上記以外で、地球温暖化・ヒートアイランド対策として特に配慮した事項を記述します。

(例) ・大規模な自然エネルギー施設を導入する。(施設の規模)

・地域冷暖房を導入する。

## 4. 参考資料

CASBEE—建築(新築)より大阪府重点評価への入力項目

CASBEE-建築(新築)2016年版 QOビル		■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 osk_CASBEE-BD_NC_2016(Q2.1)				
スコアシート 実施設計段階		欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト:				
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
<b>Q 建築物の環境品質</b>						<b>3.4</b>
<b>Q1 室内環境</b>			0.40			<b>3.5</b>
<b>1 音環境</b>		<b>3.0</b>	0.15			<b>3.0</b>
1.1 室内騒音レベル		<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>		
1.2 遮音		<b>3.0</b>	0.40			
1 開口部遮音性能		3.0	0.60	3.0		
2 界壁遮音性能		3.0	0.40	3.0		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0		
1.3 吸音		<b>3.0</b>	0.20	<b>3.0</b>		
<b>2 温度環境</b>		<b>3.9</b>	0.35	<b>3.9</b>		<b>3.9</b>
2.1 室温制御		<b>3.7</b>	0.50	<b>3.7</b>		
1 室温	温度設定夏25℃冬22℃	5.0	0.30	3.0		
2 外皮性能		<b>3.0</b>	0.25	<b>3.0</b>		
3 ソーン別制御性		3.0	0.38	3.0		
2.2 湿度制御		<b>3.0</b>	0.20	<b>3.0</b>		
2.3 空調方式	床吹き出し空調採用	5.0	0.30	3.0		
<b>3 光・視環境</b>		<b>3.6</b>	0.25	<b>3.6</b>		<b>3.6</b>
3.1 昼光利用		<b>5.0</b>	0.30	<b>5.0</b>		
1 昼光率	昼光率2.5%	5.0	0.60	3.0		
2 方位別開口		-	-	3.0		
3 昼光利用設備	ライトシールド	5.0	0.40	3.0		
3.2 グラス対策		<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>		
1 昼光制御		3.0	1.00	3.0		
3.3 照度		<b>3.0</b>	0.15	<b>3.0</b>		
3.4 照明制御		<b>3.0</b>	0.25	<b>3.0</b>		
<b>4 空気環境</b>		<b>3.2</b>	0.25	<b>3.2</b>		<b>3.2</b>
4.1 発生源対策		<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>		
1 化学汚染物質		3.0	1.00	3.0		
4.2 換気		<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>		
1 換気量		3.0	0.33	3.0		
2 自然換気性能		3.0	0.33	3.0		
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33	3.0		
4.3 運用管理		<b>4.0</b>	0.20	<b>4.0</b>		
1 CO <sub>2</sub> の監視	CO <sub>2</sub> 監視装置	5.0	0.50	3.0		
2 喫煙の制御		3.0	0.50	3.0		
<b>Q2 サービス性能</b>			0.30			<b>3.2</b>
<b>1 機能性</b>		<b>3.5</b>	0.40	<b>3.5</b>		<b>3.5</b>
1.1 機能性・使いやすさ		<b>3.6</b>	0.40	<b>3.6</b>		
1 広さ・収納性		3.0	0.33	3.0		
2 高度情報通信設備対応	コンセント40VA/m <sup>2</sup> 以上	4.0	0.33	3.0		
3 バリアフリー計画	誘導基準	4.0	0.33	3.0		
1.2 心理性・快適性		<b>4.0</b>	0.30	<b>4.0</b>		
1 広さ感・景観		3.0	0.33	3.0		
2 リフレッシュスペース	リフレッシュスペース設置	5.0	0.33	3.0		
3 内装計画	モックアップ作成	4.0	0.33	3.0		
1.3 維持管理		<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>		
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	3.0		
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	3.0		
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>3.1</b>	0.30	<b>3.1</b>		<b>3.1</b>
2.1 耐震・免震・制震・制振		<b>3.2</b>	0.50	<b>3.2</b>		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80	3.0		
2 免震・制震・制振性能	制振装置採用	4.0	0.20	3.0		
2.2 部品・部材の耐用年数		<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>		
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	3.0		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20	3.0		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	3.0		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	3.0		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20	3.0		
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	3.0		

(省エネルギー対策)

①外皮性能共用部分評価値

②重み1(外皮共用)

③重み2(外皮共用)

④外皮性能専用部分評価値

⑤重み1(外皮専用)

⑥重み2(外皮専用)



# 建築物の環境配慮制度マニュアル

「大阪府の重点評価」

## 第2章 「大阪府の重点評価」の評価と解説

重点評価一の評価と解説

2.4	信頼性		3.0	0.20	-	-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
3	電気設備		3.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	
3	対応性・更新性		3.0	0.30	-	-	3.0
3.1	空間のゆとり		3.0	0.30	-	-	
1	階高のゆとり		3.0	0.60	3.0	-	
2	空間の形状・自由さ		3.0	0.40	3.0	-	
3.2	荷重のゆとり		3.0	0.30	3.0	-	
3.3	設備の更新性		3.0	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3	室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-	3.4
1	生物環境の保全と創出	ビオトープ	⑦	4.0	0.30	-	4.0
2	まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40	-	-	3.0
3	地域性・アメニティへの配慮		3.5	0.30	-	-	3.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上	敷地内緑化	⑧	4.0	0.50	-	
LR	建築物の環境負荷低減性						3.6
LR1	エネルギー						4.0
1	建築物外殼の熱負荷抑制		⑨	4.1	0.20	-	4.1
2	自然エネルギー利用	利用量20MJ/m <sup>2</sup> 年、ライトシェード、自然通風	⑩	5.0	0.10	-	5.0
3	設備システムの高効率化	[BEI][BEI <sub>0</sub> ] = 0.74	⑪	3.6	0.50	-	3.6
4	効率的運用		⑫	4.5	0.20	-	4.5
	集合住宅以外の評価			4.5	1.00	-	
4.1	モニタリング	BEMS採用		5.0	0.50	-	
4.2	運用管理体制	エネルギー分析の実施		4.0	0.50	-	
	集合住宅の評価			3.0	-	-	
4.1	モニタリング			3.0	-	-	
4.2	運用管理体制			3.0	-	-	
LR2	資源・マテリアル						3.3
1	水資源確保		⑬	3.4	0.20	-	3.4
1.1	節水			3.0	0.40	-	
1.2	雨水利用・雑排水等の利用			3.7	0.60	-	
1	雨水利用システム導入の有無	雨水利用設備		4.0	0.70	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	
2	非再生性資源の使用量削減			3.4	0.60	-	3.4
2.1	材料使用量の削減			3.0	0.10	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	高炉セメント使用		5.0	0.20	-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-		3.0	0.20	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.10	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み			3.0	0.20	-	
3	汚染物質含有材料の使用回避			3.2	0.20	-	3.2
3.1	有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	
3.2	フロン・ハロンの回避			3.3	0.70	-	
1	消火剤			4.0	0.33	-	
2	発泡剤(断熱材等)			3.0	0.33	-	
3	冷媒			3.0	0.33	-	
LR3	敷地外環境						3.4
1	地球温暖化への配慮	積極的な省エネルギー対策、高炉セメント採用	⑭	3.9	0.33	-	3.9
2	地域環境への配慮			3.5	0.33	-	3.5
2.1	大気汚染防止			3.0	0.25	-	
2.2	温熱環境悪化の改善	敷地内緑化	⑮	4.0	0.50	-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	
1	雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	
2	汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	
3	交通負荷抑制			3.0	0.25	-	
4	廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.25	-	
3	周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	3.0
3.1	騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	
1	騒音			3.0	0.33	-	
2	振動			3.0	0.33	-	
3	悪臭			3.0	0.33	-	
3.2	風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	
1	風害の抑制			3.0	0.70	-	
2	砂塵の抑制			3.0	-	-	
3	日照障害の抑制			3.0	0.30	-	
3.3	光害の抑制			3.0	0.20	-	
1	窓枠周辺及び室内空間から外に漏れる光への対策			3.0	0.70	-	
2	屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	

(みどり・ヒートアイランド対策)

- ⑦生物環境の保全と創出
- ⑧敷地内温熱環境の向上

(省エネルギー対策)

- ⑨建物の熱負荷抑制
- ⑩自然エネルギーの利用
- ⑪設備システムの高効率化
- ⑫効率的運用
- ⑬水資源保護

(CO2削減)

- ⑭地球温暖化への配慮

(みどり・ヒートアイランド対策)

- ⑮温熱環境悪化の改善

# 第3章 エネルギー消費実績の報告

## 1. 報告の手続き

各報告は、「建築物環境配慮指針に基づくエネルギー消費量の実績等の報告に関する要領」に基づき、報告書(1部)を、大阪府住宅まちづくり部建築指導室審査指導課に提出してください。

### (1) エネルギー消費量の目標の報告(要領第4条関係)

建築物環境計画書の届出の際に、「大阪府の重点評価」で「エネルギー消費量の実績を報告する」とした場合は、工事完了の届出(条例第20条に規定)までに「建築物エネルギー消費量の目標報告書」に次の事項を記入し、報告してください。

- 氏名(法人の場合は、名称及び代表者の氏名)、住所(法人の場合は、所在地)
- 建築物の名称及び所在地
- 工事完了年月日
- エネルギー消費量の目標

報告様式は、大阪府のホームページからダウンロードすることができます。記入例の下線部を参考に記入してください。

### 建築物エネルギー消費量の目標報告書の添付図書

#### I. 評価ソフト

添付図書	備考
「大阪府の重点評価」 ① 消費量結果表示シート ② 目標入力シート	建築物環境計画書の届出の際に添付した「大阪府の重点評価」に追加入力してください。 (新たに大阪府ホームページからダウンロードして作成しても結構です。) 注：(1)②の「目標入力シート」のみ入力してください。 (2)①の「消費量結果表示シート」には、その結果が自動的に表示されます。

※1 特定建築主に代わって、設計者等が報告を行う場合は、委任状を添付してください。

※2 目標入力シートへの入力は、「2 入力方法」を参考にしてください。

※3 上表の添付図書は、あわせて電子データ(Excel ファイル)による提出をお願いします。

電子データによる提出が困難な場合には、ご相談ください。

なお、届出の内容や記載方法等について、ご不明な点がございましたら、お気軽にご相談下さい。

建築物エネルギー消費量の目標報告書の記入例

様式第1号(要領第4条関係)

<p>建築物エネルギー消費量の目標報告書</p> <p style="text-align: right;">平成〇〇年〇〇月〇〇日</p> <p>大阪府知事様</p> <p>報告者 住所 <u>〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号</u></p> <p>氏名 フリガナ <u>〇〇〇〇〇〇</u> <u>株式会社〇〇〇〇</u> <u>〇〇〇〇〇〇</u></p> <p style="text-align: center;">代表取締役 <u>〇〇〇〇</u> (印)</p> <p>(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)</p> <p>建築物環境配慮指針に基づくエネルギー消費量の実績等の報告に関する要領第4条の規定により、次のとおり報告します。</p>	
建築物の名称	<u>〇〇ビルディング</u>
建築物の所在地	<u>〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号</u>
工事完了予定年月日	<u>平成〇〇年〇〇月〇〇日</u>
エネルギー消費量の目標	別紙のとおり
連絡先	<p>会社名及び担当者名 <u>〇〇株式会社〇〇部〇〇課 〇〇〇〇</u> (届出の問合せに対応可能な担当者名を記入ください。)</p> <p>電話番号 <u>〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇</u></p> <p>電子メールアドレス</p>
※大阪府受付欄	<u>(この欄にはなにも記入しないでください)</u>

備考1 氏名（法人にあつては、代表者の氏名）の記載を自署で行う場合は、押印を省略することができます。

2 ※印のある欄は、記入しないでください。

## (2) エネルギー消費量の目標変更の報告(要領第5条関係)

設備の更新や営業時間の変更など、やむを得ない事情により目標に変更が生じた場合は、目標変更の報告が必要です。(年度途中での当該年度の目標変更はできません。次年度の目標を報告していただくことになります。)

変更の内容が明確になった時点で、目標の変更と同様に、「建築物エネルギー消費量の目標変更報告書」に次の事項を記入し、報告してください。

- 氏名(法人の場合は、名称及び代表者の氏名)、住所(法人の場合は、所在地)
- 建築物の名称及び所在地
- エネルギー消費量の目標の変更内容
- エネルギー消費量の目標の変更の理由

報告様式は、大阪府のホームページからダウンロードすることができます。記入例の下線部を参考に記入してください。

注: 目標の変更は、年度ごととしています。これは、目標が年度途中で変更されると、実績の評価が煩雑になることを避けるための措置です。ご理解をお願いします。

### 建築物エネルギー消費量の目標変更報告書の添付図書

#### I. 評価ソフト

添付図書	備考
「大阪府の重点評価」 ①消費量結果表示シート ②目標入力シート	建築物環境計画書の届出の際に添付した「大阪府の重点評価」に追加入力してください。 (新たに大阪府ホームページからダウンロードして作成しても結構です。) 注: (1)②の「目標入力シート」のみ入力してください。 (2)①の「消費量結果表示シート」には、その結果が自動的に表示されます。

※1 特定建築主に代わって、設計者等が報告を行う場合は、委任状を添付してください。

※2 目標入力シートへの入力は、「2 入力方法」を参考にしてください。

※3 上表の添付図書は、あわせて電子データ(Excel ファイル)による提出をお願いします。

電子データによる提出が困難な場合には、ご相談ください。

なお、届出の内容や記載方法等について、ご不明な点がございましたら、お気軽にご相談下さい。

建築物エネルギー消費量の目標変更報告書の記入例

様式第2号(要領第5条関係)

建築物エネルギー消費量の目標変更報告書		
平成〇〇年〇〇月〇〇日		
大阪府知事様		
報告者 住所	<u>〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号</u>	
氏名	ふりがな <u>〇〇〇〇〇〇</u> <u>株式会社〇〇〇〇</u> <u>〇〇〇〇〇〇</u> 代表取締役 <u>〇〇〇〇</u> (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
(印)		
<p>建築物環境配慮指針に基づくエネルギー消費量の実績等の報告に関する要領第5条の規定により、次のとおり報告します。</p>		
建築物の名称	<u>〇〇ビルディング</u>	
建築物の所在地	<u>〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号</u>	
変更内容	別紙のとおり	
変更理由	<u>営業時間変更のため</u> <u>(営業時間を「午前10時から午後7時まで」から午後10時までに変更)</u>	
連絡先	会社名及び担当者名	<u>〇〇株式会社〇〇部〇〇課 〇〇〇〇</u> (届出の問合せに対応可能な担当者名を記入ください。)
	電話番号	<u>〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇</u>
	電子メールアドレス	
※大阪府受付欄	<u>(この欄にはなにも記入しないでください)</u>	

備考1 氏名(法人にあつては、代表者の氏名)の記載を自署で行う場合は、押印を省略することができます。

2 ※印のある欄は、記入しないでください。

### (3) エネルギー消費量の実績の報告(要領第6条関係)

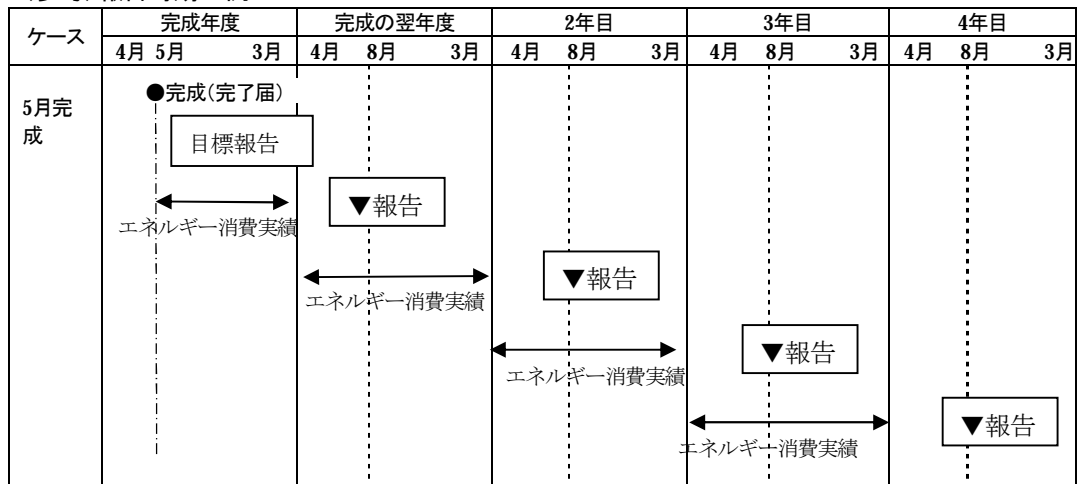
建築物環境計画書の届出の際に、「大阪府の重点評価」で「エネルギー消費量の実績を報告する」とした場合は、毎年度のエネルギー消費量の実績を次年度の8月末までに「建築物エネルギー消費量の実績報告書」に次の事項を記入し、報告してください。

- 氏名(法人の場合は、名称及び代表者の氏名)、住所(法人の場合は、所在地)
- 建築物の名称及び所在地
- 工事完了年月日
- エネルギー消費量の実績

報告様式は、大阪府のホームページからダウンロードすることができます。記入例の下線部を参考に記入してください。

注:エネルギー消費量実績の報告については、工事完了の3年後の年度末まで、当該年度(4月～翌年3月)の実績を翌年度の8月末までに行います。(工事完了の翌年度から3年間の報告に加え、参考として工事完了年度の実績も報告してください。)

(参考)報告時期の例



#### 建築物エネルギー消費量の実績報告書の添付図書

##### I. 評価ソフト

添付図書	備考
「大阪府の重点評価」 ① 消費量結果表示シート ② 消費量入力シート(当該年度)	建築物環境計画書の届出の際に添付した「大阪府の重点評価」に追加入力してください。 (新たに大阪府ホームページからダウンロードして作成しても結構です。) 注: (1)②の「消費量入力シート」のみ入力してください。 (2)①の「消費量結果表示シート」には、その結果が自動的に表示されます。

※1 特定建築主に代わって、設計者等が報告を行う場合は、委任状を添付してください。

※2 消費量入力シートへの入力は、「2 入力方法」を参考にしてください。


※3 上表の添付図書は、あわせて電子データ(Excel ファイル)による提出をお願いします。

電子データによる提出が困難な場合には、ご相談ください。

なお、届出の内容や記載方法等について、ご不明な点がございましたら、お気軽にご相談下さい。

建築物エネルギー消費量の実績報告書の記入例

様式第3号(要領第6条関係)

<p>建築物エネルギー消費量の実績報告書</p> <p style="text-align: right;">平成〇〇年〇〇月〇〇日</p> <p>大阪府知事様</p> <p>報告者 住所 <u>〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号</u></p> <p>氏名 ふりがな <u>〇〇〇〇〇〇</u> <u>株式会社〇〇〇〇</u> <u>〇〇〇〇〇〇</u> 代表取締役<u>〇〇〇〇</u> (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)</p> <div style="text-align: right; margin-right: 50px;">  </div> <p>建築物環境配慮指針に基づくエネルギー消費量の実績等の報告に関する要領第6条の規定により、次のとおり報告します。</p>							
建築物の名称	<u>〇〇ビルディング</u>						
建築物の所在地	<u>〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号</u>						
工事完了年月日	<u>平成〇〇年〇〇月〇〇日</u>						
エネルギー消費量の実績	別紙のとおり						
連絡先	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; padding: 5px;">会社名及び担当者名</td> <td style="padding: 5px;"><u>〇〇株式会社〇〇部〇〇課 〇〇〇〇</u> (届出の問合せに対応可能な担当者名を記入ください。)</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">電話番号</td> <td style="padding: 5px;"><u>〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇</u></td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">電子メールアドレス</td> <td style="padding: 5px;"></td> </tr> </table>	会社名及び担当者名	<u>〇〇株式会社〇〇部〇〇課 〇〇〇〇</u> (届出の問合せに対応可能な担当者名を記入ください。)	電話番号	<u>〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇</u>	電子メールアドレス	
会社名及び担当者名	<u>〇〇株式会社〇〇部〇〇課 〇〇〇〇</u> (届出の問合せに対応可能な担当者名を記入ください。)						
電話番号	<u>〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇</u>						
電子メールアドレス							
※大阪府受付欄	<u>(この欄にはなにも記入しないでください)</u>						

備考1 氏名(法人にあつては、代表者の氏名)の記載を自署で行う場合は、押印を省略することができます。  
2 ※印のある欄は、記入しないでください。

## 2. 入力方法

### (1) 目標入力シートの入力方法(目標報告時)

建物の名称、建設地を入力してください。

大阪府建築物環境配慮評価システム  
**エネルギー消費量の目標(計画)** Osakafu-新築・既存 2015V1.0

【建物名称・建設地】 建物名称   
 建設地

燃料ごとの年間消費量の目標を入力してください。

【エネルギー消費量の目標(計画)】 建築物使用開始年月：平成 27 年 4 月  
 目標(計画)期間：平成27年4月～平成30年3月

熱量の換算係数に独自の値を使用するときは、使用する換算係数を入力の上、根拠となるデータを添付してください。

種類	種別	単位	熱量への換算係数		年間消費量	熱量換算(GJ)
			規定値	独自の数値*1		
電力	(昼間)*2	千kWh	9.76	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	(夜間)*2	千kWh	9.97	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
都市ガス	13A	千m <sup>3</sup>	41.1	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
LPG		t	50.2	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
灯油		kL	36.7	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	A	kL	39.1	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
重油	B,C	kL	41.7	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	冷水	GJ	1.36	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
地域熱供給	温水	GJ	1.36	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	蒸気	GJ	1.36	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
その他*3			-	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
			-	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
			-	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
エネルギー消費量(GJ)						<input type="text"/>

記載されている燃料以外の燃料を使用するときは、燃料名、単位、熱量への換算係数を入力してください。(熱量の換算係数は、別表シートを参考にしてください。)

空調床面積を入力してください。特記事項には、24時間空調を行うなど特に通常と異なる使用を行う場合に記入してください。

【関連項目】\*4

空調床面積(m <sup>2</sup> )	特記事項*5
<input type="text"/>	<input type="text"/>

燃料使用量が多い特定の用途がある場合は、その用途、使用燃料、定格燃料消費量などを記入してください。

用途	使用燃料	定格燃料消費量(1時間あたり)	特記事項*5
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

省エネの取り組みを具体的に記載してください。

目標達成のための取り組み(予定)

入力しないでください

【エネルギー消費量の目標(計画)の変更(1回目)】 変更の有無 変更なし  
 変更年月：平成 年 4 月

種類	燃料	種別	単位	熱量への換算係数		年間消費量	熱量換算(GJ)
				規定値	独自の数値*1		
電力		(昼間)*1	千kWh	9.76	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
		(夜間)*1	千kWh	9.97	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
都市ガス		13A	千m <sup>3</sup>	41.1	<input type="text"/>	<input type="text"/>	
LPG			t	50.2	<input type="text"/>	<input type="text"/>	
灯油			kL	36.7	<input type="text"/>	<input type="text"/>	
		A	kL	39.1	<input type="text"/>	<input type="text"/>	
重油		B,C	kL	41.7	<input type="text"/>	<input type="text"/>	
		冷水	GJ	1.36	<input type="text"/>	<input type="text"/>	
地域熱供給		温水	GJ	1.36	<input type="text"/>	<input type="text"/>	
		蒸気	GJ	1.36	<input type="text"/>	<input type="text"/>	
その他				-	<input type="text"/>	<input type="text"/>	
				-	<input type="text"/>	<input type="text"/>	
エネルギー消費量(GJ)						<input type="text"/>	<input type="text"/>
変更の理由	燃料変更のため						



\*このシートは、公表されません。

(2) 目標入力シートの入力方法(目標変更報告時)

大阪府建築物環境配慮評価システム  
エネルギー消費量の目標(計画) Osakafu-新築・既存 2015V1.0

【建物名称・建設地】 建物名称 \_\_\_\_\_ 建設地 \_\_\_\_\_

【エネルギー消費量の目標(計画)】 建築物使用開始年月: 平成 27 年 4 月  
目標(計画)期間: 平成27年4月 ~ 平成30年3月

種類	種別	単位	熱量への換算係数		年間消費量	熱量換算(GJ)
			規定値	独自の数値*1		
電力		千kWh	9.76			
	(昼間)*2	千kWh	9.97			
	(夜間)*2	千kWh	9.28			
都市ガス	13A	千m <sup>3</sup>	41.1			
LPG		t	50.2			
灯油		kL	36.7			
	重油	A	kL	39.1		
		B,C	kL	41.7		
地域熱供給	冷水	GJ	1.36			
	温水	GJ	1.36			
	蒸気	GJ	1.36			
その他*3			-			
			-			
			-			
エネルギー消費量(GJ)						

【関連項目】\*4

空調床面積(m <sup>2</sup> )	特記事項*5			
エネルギー消費量が多い用途がある場合*6	用途	使用燃料	定格燃料消費量(1時間あたり)	特記事項*5
目標達成のための取り組み(予定)				

当初に入力した目標(計画)値は、変更しないでください

目標の変更を行うときは、変更有りを選択してください。

目標を変更するときは、年度ごととし、変更開始年度を入力してください。

変更する燃料の年間消費量を入力してください。

その他の燃料を変更するときは、書き換えないで、追加記入し、使用しなくなる燃料の年間使用量に「0」を入力してください。

「燃料変更」、「営業時間の変更」、「テナントの変更」など変更理由を具体的に記入してください。

【エネルギー消費量の目標(計画)の変更(1回目)】 変更の有無  変更有

目標(計画)期間: 平成28年4月 ~ 平成30年3月 変更年月: 平成 28 年 4 月

種類	種別	単位	熱量への換算係数		年間消費量	熱量換算(GJ)
			規定値	独自の数値*1		
電力		千kWh	9.76			
	(昼間)*1	千kWh	9.97			
	(夜間)*1	千kWh	9.28			
都市ガス	13A	千m <sup>3</sup>	41.1			
LPG		t	50.2			
灯油		kL	36.7			
	重油	A	kL	39.1		
		B,C	kL	41.7		
地域熱供給	冷水	GJ	1.36			
	温水	GJ	1.36			
	蒸気	GJ	1.36			
その他			-			
			-			
			-			
エネルギー消費量(GJ)						
変更の理由	燃料変更のため					

エネルギー消費  
実績の報告

\*このシートは、公表されません。

### (3) 消費量入力シートの入力(実績報告時)

消費量は、月ごと、又は年間値のどちらかを入力してください。

建物の名称、建設地を入力してください。

大阪府建築物環境配慮評価システム  
エネルギー消費量入力(1年目・工事完了年度) Osakafu-新築・既存 2015V1.0

【建物名称・建設地】

建物名称   
建設地

【エネルギー消費量の実績(1年目)】  
平成27年度(平成27年1月～平成28年3月)

燃料種類	種別	単位	熱量への換算係数		入力状況*2	月別消費量*1												年間消費量*1
			規定値	独自の数値*2		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
電力	(昼間)*3	千kWh	9.76															
		千kWh	9.97															
	(夜間)*3	千kWh	9.28															
都市ガス	13A	千m <sup>3</sup>	41.1															
LPG		t	50.2															
灯油	A	kL	36.7															
		kL	39.1															
重油	B,C	kL	41.7															
		GJ	1.36															
地域熱供給	冷水	GJ	1.36															
		GJ	1.36															
その他			-															
			-															

【関連項目】

エネルギー使用量の増減の理由\*4  省エネルギーの取り組み内容\*4

\*1 月別消費量又は年間消費量のいずれか一方を入力してください。月別消費量を入力した場合の年間消費量は、結果シートに表示されます。  
\*2 目標(計画)設定したエネルギーで消費実績が「0」又は入力がない場合、「入力状況欄」に「実績値が「0」又は入力されていません。」と表示されます。これは、入力漏れを防止するための表示ですので、消費実績がない場合は、そのまま結構です。  
\*3 昼夜別買電を行う場合においては、昼夜別の電力使用量により計算することができます。(昼間: 8時～22時、夜間: 22時～8時)  
\*4 「猛暑による冷房需要の増加」「エネルギー消費の少ないテナントに替わったため減少」など、具体的な理由を記載してください。  
\*5 「昼休み消灯」「空調設定温度の冷房28℃、暖房20℃の徹底」など、具体的な取り組みを記載してください。

「猛暑のため増加」、「営業時間延長のため増加」など特に変動の理由がある場合は、具体的に記入してください。

当該年度の省エネルギーの取り組みを具体的に記入してください。

注: 目標報告時に目標設定していない燃料を使用した場合は、目標入力シートに「燃料名」、「単位」、「熱量への換算係数」を入力してください。ただし、燃料消費量の目標値は、入力しないでください。

\*このシートは、公表されません。

4) 消費量結果表示シート

【表示内容】

大阪府建築物環境配慮評価システム  
エネルギー消費量実績報告(結果) Osakafu-新築・既存 2015V1.0

(1) 建築物名称等

【建物名称・建設地】 建物名称 \_\_\_\_\_ 建設地 \_\_\_\_\_

(2) 各年度の目標・実績

【エネルギー消費量の実績】  
実績報告対象期間: 平成27年4月～平成30年3月

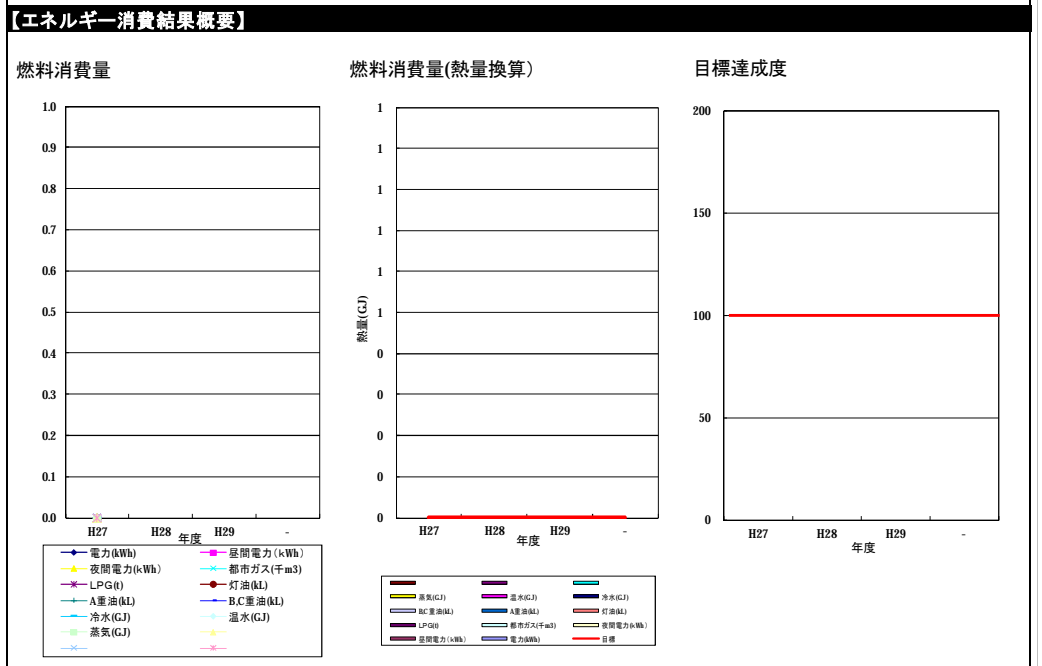
燃料種類	単位	熱量への換算係数	平成27年4月～平成28年3月			平成28年4月～平成29年3月			平成29年4月～平成30年3月			目標	実績	実績/目標 (%)
			目標	実績	実績/目標 (%)	目標	実績	実績/目標 (%)	目標	実績	実績/目標 (%)			
電力	千kWh	9.76												
	(昼間) 千kWh	9.97												
	(夜間) 千kWh	9.28												
都市ガス(L3A)	千m <sup>3</sup>	41.1												
LPG	t	50.2												
灯油	kL	36.7												
重油	A kL	39.1												
	B,C kL	41.7												
地域熱供給	冷水 GJ	1.36												
	温水 GJ	1.36												
	蒸気 GJ	1.36												
		-												
		-												
		-												
エネルギー消費量(GJ)														

(3) 目標の変更履歴

【目標(計画)の変更履歴】

変更年度	変更理由
平成28年4月	燃料変更のため

(4) 燃料種類ごとの消費量  
目標達成度(グラフ)



エネルギー消費  
実績の報告

\*このシートは、公表されません。





大阪府

住宅まちづくり部 建築指導室 審査指導課 建築環境・設備グループ  
〒559-8555 大阪市住之江区南港北 1-14-16 TEL 06 (6210)9725